

給食だより



令和6年度
11月号

こんげつ とやまけんしよくいすいしんげっかん
(今月は富山県食育推進月間です)

かぞくいっしょ よ
●家族一緒に読みましょう

氷見市立瀬浦小学校

こんげつ とやまけんしよくいすいしんげっかん がっこうきゅうしよく ひこんだて
今月は、「富山県食育推進月間」です。学校給食とやまの日献立やゴーセ
ひこんだてなど ひみきん とやまけんきん しよくざい つか きゅうしよく
イな日献立等、氷見産や富山県産の食材をたくさん使った給食をいただきます。

た 食べることは、生き物の命をいただき、命をつないでいくことです。また、しよくじ
できあがるまでに、料理を作る人をはじめ、農作物や家畜を育てる人、魚をとる
ひと しよくざい はこひと はんばい ひとなど ひと かか
人、食材を運ぶ人、販売する人等、たくさんの方が関わっています。いただく命や
かか ひとひと かんしゃ きもち わす こころ こ
関わってくださった人々に感謝の気持ちを忘れず、心を入れてあいさつし、食事を
たいせつ
大切にいただきますよう。



「いただきます」「ごちそうさま」に込める感謝の気持ち

にほん では、しよくじ まえ
日本では、食事の前に「いただきます」、食べ終わったら「ごちそうさま」
のあいさつをする習慣があります。それぞれ、どのような意味があるの
しょうか。



いただきます



「いただく(頂く/戴く)」は、あたま
「いただく(頂く/戴く)」は、頭にのせるという意味
があり、みぶん たか ひと もの とき すじょう ささ
身分の高い人から物をもらう時に、頭上に捧げて
けい あらわ どうさ ことば しぜん めぐ い もの
敬意を表した動作にちなむ言葉です。自然の恵み、生き物
の命をもらうことへの感謝を表します。

ごちそうさまでした



「ちそう(馳走)」は、しよくじ ようい
「ちそう(馳走)」は、食事を用意するために走り回るこ
とを意味しており、この食事ができあがるまでに関わった
ひとひと かんしゃ きもち こ
人々への感謝の気持ちが込められています。

給食を通して地産地消のよさを知ろう!

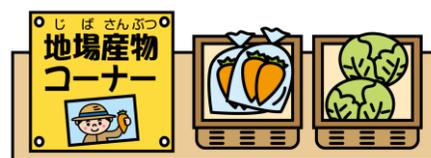
ちさんちしよく とお ちさんちしよく
地産地消とは、地域で生産された農林水産物を、その地域で消費する取組です。学校給食で
は、ちさんちしよく とお ちさんちしよく
は、地域でとれた「地場産物」を活用することで、地域の産業や食文化への理解を深め、地域
への愛着を育むとともに、環境問題や食料自給率といった課題について
め 目を向ける機会にしたいと考えています。

地産地消のよさとは?



<p>新鮮な旬の味覚を味わうことができる</p>	<p>作っている人の顔がわかり、安心感が得られる</p>	<p>地域内で資金が還元され、地域経済の活性化につながる</p>
<p>農業が活性化することで農地が保全され、景観の維持や洪水の防止につながる</p>	<p>運ぶ距離が短くなり、エネルギーやCO₂排出量が削減でき、環境に優しい</p>	<p>ESDs (持続可能な開発目標) の達成に貢献できる</p>

食品を選ぶ際は、産地や生産者を意識してみませんか?



ちやくばいじょ みち えき
直売所や道の駅、スーパーマーケットの地場産物コーナー
などを活用しましょう。地場産物の他、自分が応援したい地域や
被災地の産品を選ぶことは、その産地の生産者を応援すること
につながります。

